

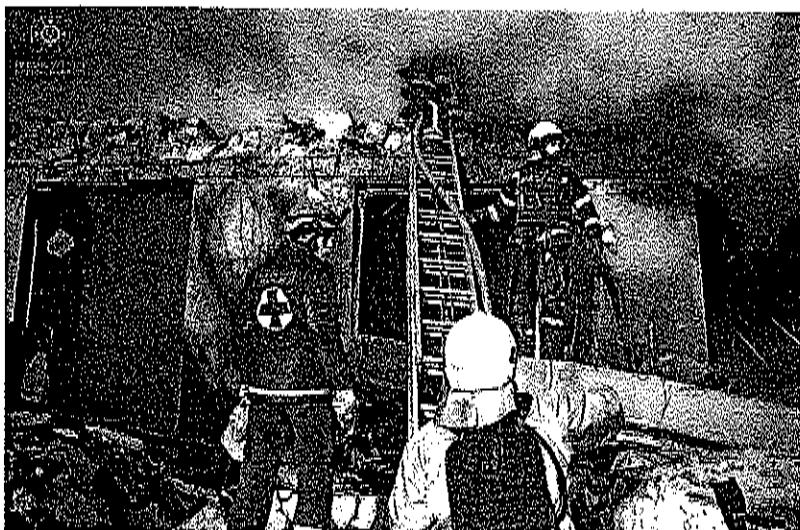
2/14 木

4人に1人国内外避難へ

【ベルリン】ロシアがウクライナ侵攻を開始して24日で2年が経過します。国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)によれば、一戸当たりでやかましい約337万人。国外に逃れた難民は約647万の700人で、合わせて国内の約4分の1が家を追われています。▼関連記事

難路2年

ロシアはウクライナの市民や民間施設に対する国際法違反の攻撃をつづけています。これに大統領選を控



23日、南部オデッサで、ロシアのミサイルとドローン攻撃に発見された建物で活動する救助隊員=ウクライナ国家非常事態庁が提供(ロイター)

高齢者や障害者、困難続く

地下鉄駅構内に設けられた教室で授業を受けたウクライナの子どもたち=2023年9月、北東部ハリコフ(AFP時事)



地下に7カ月いた例も

前線付近では空襲警報令(エアラム)が頻繁に発令されましたが、それでも地下に隠れていた時間が計約3000~5000回の時

一大統領は反撃攻撃のため米軍や欧州連合(EU)に対し迅速な支援を提供するよう求めています。

ウクライナのセレンベキ

子どもに壊滅的影響

4割が継続的教育受けられず

は23日、ロシアによるウクライナ侵攻で、子供の精神や学習に「壊滅的影响」があったと指摘する報告書があつたと指摘する報告書を発表しました。特に

トトウマを抱えた子どもたちも、「空襲警報のサイレン」や爆弾が鳴る不安をもたらす「心の負担」と懸念を示しました。戦闘で不安や恐怖を感じました。また、戦闘や砲撃行動の記憶がよみがえり、いたたしましていました。

一方で、子供たちは「空襲警報」が、施設面の問題で継続的に教育を受けられてしま

た。これが要因でコロナPCR検査の人道支援につれて「全体として困難な状況が続いている」と評価しました。その結果、民間が少く、ショットナーによる暴力や性的搾取などもみられる」と評価する「方、高齢者や障害者など「特定の状況が必要な人々には困難な状況が続く」と指摘しました。そのため難民の多くが女性や子どもであるばかり、ショットナーによる就労や社会保障の権利を保障する「一時保護基づいて暴力や性的搾取と離脱する必要がある」と指摘されました。

指令」をつけて2020年3月から「人道支援の助上が課題で離脱すると決定しました」と述べています。



23日、南部オデッサで、ロシアのミサイルとドローン攻撃に発見された建物で活動する救助隊員=ウクライナ国家非常事態庁が提供(ロイター)

地下鉄駅構内に設けられた教室で授業を受けたウクライナの子どもたち=2023年9月、北東部ハリコフ(AFP時事)



地下に7カ月いた例も

前線付近では空襲警報令(エアラム)が頻繁に発令されましたが、それでも地下に隠れていた時間が計約3000~5000回の時

トトウマを抱えた子どもたちも、「空襲警報のサイレン」や爆弾が鳴る不安をもたらす「心の負担」と懸念を示しました。戦闘で不安や恐怖を感じました。また、戦闘や砲撃行動の記憶がよみがえり、いたたしましていました。

一方で、子供たちは「空襲警報」が、施設面の問題で継続的に教育を受けられてしま